

平成30年12月4日

司法研修所事務局

72期司法修習生のみなさんへ

### 導入修習チェックシートについて

#### 1 本シートの趣旨・目的

導入修習は、現時点でのみなさんに不足している実務的基礎知識・能力に気付いてもらいたい、円滑に分野別実務修習を行えるようにすることを目的としています。しかし、せっかく導入修習で自分の課題に気付いても、実務修習でその課題に取り組まなければ、みなさんが導入修習を十分に活かすことができたとはいえません。

そこで、本シートは、みなさんが導入修習において自分の知識・能力等に課題があると感じた場合に、その気付きをみなさんに意識してもらい、実務修習期間中の自学自修や分野別実務修習での指導に活かすことを目的として作成してもらうものです（現時点での課題があるのは当然のことですし、以上のような趣旨・目的のものですから、成績評価等には関係ありません。）。

#### 2 本シートの利用方法

みなさんから提出された本シートは、司法研修所から、分野別実務修習の指導担当者に送付され、クラス担当教官にも交付されます。

みなさんは、必ず、本シートのコピーを作成して実務修習結果簿の所定の場所に綴り込んで保存し、失くさないようにするとともに、実務修習期間中に隨時見直し、自学自修や分野別実務修習に活用することを意識してください。また、実務修習の指導担当者と、本シートを用いて面談を行うなどして、実務修習の目標や取り組み方について相談することも考えられます。

各クールの終わりには、本シートの記載内容を踏まえて実務修習を振り返り、実務修習結果簿の該当頁に、取組の成果や自分の課題の状況について記載してください。

#### 3 本シートの作成・提出方法

裁判所ウェブサイトを通じて本シートの電子データを配布しますので、導入修習のカリキュラムごとに、自らに不足している知識・能力等について感じたことを逐次メモするなどした上で、提出前にそれらを整理して本シートを作成し、印刷して、A班の修習生は12月19日（水）に、B班の修習生は12月20日（木）に提出してください（手書きで記載しても構いません）。本シートの趣旨・目的を踏まえ、提出の直前に慌てて思い出しながら作成するようなことのないように注意してください。

印刷は、必ずA4用紙1枚に「両面印刷」したものとし、用紙が2枚以上にわたる

ことのないようにしてください。

#### 4 その他の注意点

(1) 「経歴」欄は、法科大学院（L S）修了（既修=1、未修=2）、L Sを修了していない=3の該当するものから選んで記入してください。

法科大学院修了者は、予備試験合格資格で司法試験を受験した場合でも、L S修了を選んでください。

(2) 各項目の自由記載欄は、指示に従ってなるべく具体的に記載するようしてください。実務修習中の取組や自学自修について記載する際に、学修に当たって悩んでいること、分からぬことなどについて記載しても差し支えありません。

みなさんが、実務修習を有意義なものとし、大きく成長されることを期待しています。

以上